

koedo-kawagoe
OMOTENASHI

おもてなし 小江戸川越

元禄七年川越圖

川越町字松郷
舊戸長下川喜衛門所存之寫

大正五年十一月三芳野神社拜藏原圖
立贈田氏所莊天神録起圖前より寫

対談

変容するインバウンド

私たちが伝えていきたい

「本物の川越」とは

子供から大人まで楽しめる！
川越の体験スポット



とき 変るまち 川越

小江戸川越観光協会

2024.WINTER

川越いもみくじ



川越ならではの！ さつまいもの魅力と 地域振興の想いに溢れるかわいいおみくじ

二〇二三年十二月一日より、川越氷川神社で「川越いもみくじ」の頒布が始まりました。手作りで作られたさつまいもの張子は、一つとして同じ形がありません。運勢判断のおみくじはもちろん、番外編としていただける短冊には、川越とさつまいもの関わり、さつまいもの品種、そして「ラッキーアイテム」など、「いも知識」が記されています。

川越氷川神社では、障害を持つ方の自立支援、そして川越の特産品でもあるさつまいもへの知識を深め、地域の振興へと繋がることを願い、この川越いもみくじの取り組みを行ってきました。

「関係者の創意工夫により、地域への



さつまいもにちなんだ番外編の短冊は社務所前でいただける



おみくじをひくときの道具も選べる



手のひらサイズのさつまいもの張子はバッグなどにつけてもかわいい

大切な思いを形にできたことに、大きな喜びを感じています」と語るのは、この取り組みをサポートしたサツマイモまんが資料館の館長・山田英次氏。またさつまいもの張子制作に携わる障害者自立支援施設いもの子作業所の大畠施設長も、「ミルクパックを使った紙漉きの技術を使い、重度の障害を持つ仲間たちが制作工程で自分たちの力を発揮できる。作業場でも活気が出て、楽しく日々を過ごしています」と喜びを語っています。



サツマイモ
まんが資料館



社会福祉法人皆の郷
川越いもの子作業所



新年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、日頃より当協会に対してのご理解、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、市制施行百周年から一年が経ち、新たな百年に向けて川越は動き始めました。

今年は、まつり会館がリニューアルされ、りそな銀行川越支店跡が「りそなコエドテラス」として、旧川越織物市場は川越市文化創造インキュベーション施設として再生されます。コロナ禍を完全には脱したとは言えませんが、昨年は猛暑の夏は足踏みしたとはいえ、インバウンドを含め、多くの観光客の方が戻り始めています。本当に苦しい三年間を乗り越え

てきたからこそ今の今に感謝したいと思います。

観光協会では、InstagramとFacebookなどのSNSを使って、会員の皆様から頂いた情報をスタッフが毎日アップさせて頂いております。次々にアップされる記事は目まぐるしいのですが、アーカイブをみれば、正に「川越の今」がわかると自負しております。また、昨年、晩夏に伊佐沼で行われた「小江戸夕涼み会」、秋の「KAWAGOE RENDIX」では、音楽ライブと食で川越の夜を彩り、皆様からご好評を頂きました。

私が二〇二二年の観光協会総会で、「色あせないまち、川越」を目指していきたいとお話させていただきました。何回来ても新たな発見がある、

いつも瑞々しい町、という意味でした。今では、皆様の絶え間ないご努力により、着物や浴衣、人力車がまちで目につき、若い方は食べ歩きを楽しまれています。一方で、もっと深く川越に触れたい、というニーズは日本人に限らず、知的好奇心の旺盛な欧米人にもあると思っております。

一つのジャンルではなく、様々な引き出しを持てるように、会員の皆様のご協力のもと、観光に携わる諸団体と連携も図りながら、これからも新たな施策をもって観光振興に尽力していきたいと考えております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

koedo-kawagoe
OMOTENASHI
2024.WINTER

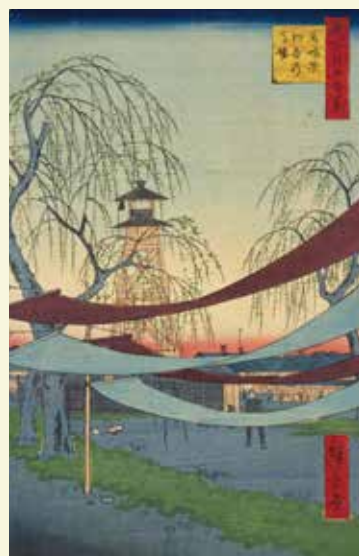
Contents

- 01 新年を迎えて
- 02 対談 変容するインバウンド 私たちが伝えていきたい「本物の川越」とは
京野弘一 × 浦澤修
- 07 ABOUT DMO 一般社団法人DMO川越の活動内容
- 08 子どもから大人まで楽しめる！ 川越の体験スポット
- 10 川越を知る file.4 山王塚古墳
- 13 新入会員紹介

いにしへの江戸・東京の 風景が残るまち



出典：広重『名所江戸百景 日本橋通一丁目略図』，魚栄，安政5. 国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/pid/1312279> (参照 2023- 11-26)



出典：広重『名所江戸百景 馬喰町初音の馬場』，魚栄，安政4. 国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/pid/1312242> (参照 2023-11-26)

「名所江戸百景」は、歌川広重（初代）が安政三（一八五六）年から五（一八五八）年にかけて制作した錦絵。120枚からなるこの作品集は、春夏秋冬の季節に分けられ、当時有名だった江戸や近郊の名所や景観の優れた場所などの風景に、行事や人々の暮らしを重ねている。日本橋を描いた画（上）には川越に今も残る黒漆喰の蔵が、そして馬喰町を描いた画では、川越の名所「時の鐘」に似た建造物が描かれている。



浦澤修

株式会社オージャパン
代表取締役社長

京野弘一

一般社団法人 DMO 川越
理事長

変容するインバウンド

対談

私たちが伝えていきたい
「本物の川越」とは

新型コロナウイルスによる影響が緩和された昨今、国内だけでなく海外からも多くの観光客がまた川越に訪れるようになった。さまざまな国からくる観光客は、川越に何を求めてやってくるのか。グルメやアクティビティ、その土地の文化や歴史への知的欲求——あるいは、私たちにとっては日常でもある「日本的な暮らし」への興味。

「観光地」としての川越から発信していくコンテンツは、また新たな変容を遂げようとしているのではないだろうか。今回の特集では、一般社団法人 DMO 川越の理事長・京野氏と、全国の自治体でインバウンド事業を手掛ける浦澤氏に、これから海外からの来訪者に伝えていきたい「本物の川越」についてお話を伺った。



浦澤修 Urasawa Osamu

昭和48年(1973年)生 埼玉県草加市出身。
青山学院大学第二英米文学科卒。宿泊施設・観光の
ウェブマーケティングを専門とする株式会社オー
ジャパン代表取締役社長。2004年から約20年イン
バウンドビジネスに従事。一般社団法人インバウンド
デジタルマーケティング協議会(2024年から観光立
国プラットフォームに名称変更)専属ウェブ担当。

外国人観光客が戻る今 観光地川越のあり方を考える

——コロナ禍を経て川越の外国人観光客の状況はいかがでしょうか？

京野 街を歩いていると外国人観光客がだいぶ戻ってきているなど感じます。データでは、2019年は外国人観光客は31万3000人、その後コロナ禍で9割減になりましたが、

今年は2019年を上回るペースで訪れていたのではないかと見込んでいます。

浦澤 川越まつりを見に来る方にもプロモーションができるといいですよね。

京野 お祭りは川越が一番大事にしている一大行事ですし、観光コンテンツにもなり得ると考えています。見どころはたくさんあるので、例え

た城下町ですから、そうした普段の生活を楽しんでくれるような方って富裕層の方ではないかもしれない。でも川越に来て街の人と触れ合ったことによってまたリピートしてくれるような仕組みが何かできないかと考えているところです。

川越のまちづくりにおける DMOの役割とはなにか

——DMOでは小江戸川越観光協会や川越市の観光課とどのような連携を考えていますか？ 具体的にお聞かせください。

京野 観光協会や川越市とは強く結び合っていてお互い頼りにしています。DMOはイベントを企画し収益をあげるためのコンテンツを考えるところではなく、市や観光協会、NPOや商工会議所などまちづくりを考えているいろんな団体を集めて、川越を今後こうしていこうという合意を取る、いわば司令塔となるところです。そのためにDMOが集積した様々なデータを元にして策を考えます。川越は観光協会をはじめとする多くの団体がイベントをや

ば数などを作った店蔵の2階から山車を見られるようにすると、祭りの歴史的な背景も勉強していただいた上で一緒に祭りを盛り上げていくような体験も考えたいんですが、年に2日ですからね。もちろん川越の魅力はお祭りだけではなくので、コンテンツは豊富だと思います。

浦澤 京都はオーバーツーリズムが問題になっていて、どう解決するかということでも国が動き始めていますね。川越も少しオーバーツーリズムになりかけているのではないですか？

京野 一部ではそういった傾向はあります。特にゴミ問題と、交通事故の懸念、ある一定の店舗にだけ人が集中しているなど色々ありますが、実証実験や川越のやり方でオーバーツーリズムを緩和することができればと思っています。

浦澤 鎌倉も大変なことになっていて、商店街は観光客が多くて歩けないし江ノ電はぎゅうぎゅうです。

京野 地元の人たちが生活ができなくなるのは問題ですね。

浦澤 住民からクレームがきてしまうと、街で観光を盛り上げていこう

ださい。

浦澤 兵庫県豊岡市の城崎温泉が有名な事例です。ここはMTEでデータを取っています。2016年6月にDMOを立ち上げ、2011年の外国人宿泊数は1100人ほどだったのが、2017年に5万人くらいになりました。6年間で45倍に急増したのを売りにしています。

という空気にはならなくなってしまっています。また、僕は20年くらいインバウンドに携わっていますが、外国人を呼び込もうと言うとほぼ反対されるんです。ですからやはり市民の協力がないと絶対に成功しないと思っています。

最近インバウンドの成功とは何か？をよく考えます。お金を落としてくれる人を多く取ることがインバウンドの成功のような傾向になってきていますが、僕が考える成功というのは、地域の人たちが外国人と交流したことによって、人生に少し潤いが出たとか、海外の人と触れ合えてよかったなという思いになること。そうならなければインバウンドの成功とは言えないと思っています。——川越のインバウンドについて今後どこへ向かっていくのか、その辺りはどう考えますか？

京野 皆で話し合い、合意形成をしながら進めていくのがDMOの役割ではないかと思っています。川越には江戸時代からの生活を今も続けているところがある、という点が魅力だと考えています。町民文化が栄え

京野さんがおっしゃるように、データは何かをやる上での裏付けになっていくので、必ず必要になってくると思います。ただ漠然とではなく、どこにターゲットを絞るのか、きちんと意図を持ってデータを取っていく。そして次はこう動きましようという進化をしていかないと、10年後変わった地点には行けないと思っています。



京野弘一 Kyono Koichi

昭和44年(1969年)生 川越市出身。
多摩美術大学大学院修了。株式会社 第一建築設計事務所 代表取締役。多摩美術大学 環境デザイン学科 非常勤講師。一般社団法人 DMO川越 理事長。

す。それはビジネスの世界も、インバウンドの世界も一緒ですね。

川越は鎌倉、小田原がライバルになるくらいポテンシャルがあると思っています。東京から1時間圏内で行ける場所で、これだけ江戸の風情、昔の日本を感じられるところは他にありません。まだそんなにPRをしていない段階で外国人が年間30万人も訪れる理由って何だと思いませんか？

京野 SNSや口コミの影響は大きいと思います。2019年にトータルで700万人来ていますが、これからもっと観光客がしっかり楽しめる質の高い観光地にしていかないといいません。新しく名物を作るのではなく、今あるものをそのまましっかり届けることが大事で、その歴史的背景もわかってもらうにはどうすれば良いのかと、いつも考えています。

先日、視察のため鎌倉に行きました。外国人も非常に多いので、皆何をしているのか見ていると、学ぼうとしているんです。日本をわかっていくと、嬉しく思っていました。

街の人たちとの交流を通して また訪れたい観光地に

浦澤 〃日本の伝統文化人と話せる街、川越〃と打ち出して、例えば神社の方とお話ができるとなれば、自ずと歴史の話してもらえないのではないのでしょうか。日本語を話したい外国人は結構多いと聞きます。今「やさしい日本語」といって、「私の名前は●●です」くらいの簡単な日本語を話そうという分野の研究があるんです。日本語で少し会話をしたいという学習意欲の高い外国人がいるなら、そういう方に向けて、やさしい日本語を話せる観光地〃というのは売りになると思います。文化をより深く知ることができそうですし、街の人と交流ができることで一歩踏み込んだ関係性ができ、リピートに繋がるかもしれません。

京野 知りたい方に対して、こちらも知識をしっかりと持ちたい方がしっかり対応し、それによって相手も学習できるのが本当の〃お金の取れる観光〃だと思っていますね。

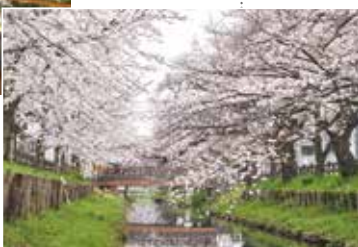
浦澤 川越にはいろんな職人さんがいますからね。おしゃべりOKのステッカーを作るとか、開けた街をアピールするだけでずいぶん変わってきますし、富裕層にも響くと思います。

——今年度事業では、観光地として賑わっている場所以外にも人が動いてもらえるようにする策が出ています。広域でやっていくことに關して、その方向性を教えてください。

京野 グリーンツーリズムをテーマにした観光をぜひやりたいですね。川越には江戸時代から続いている「落葉堆肥農法」というのがあって、世界農業遺産にも選ばれました。例えば一年かけて川越に通い、堆肥を作り苗を植えて収穫し、調理して食べるまでを観光のコンテンツにすることができたら、農家の後継者も育つかも知れません。そうした川越の風土でしか成り立たないところ、江戸時代から繋がっているところにもっと目を向けていきたいと思っています。農の分野についてはこれからいろんなアイデアが広がるのではないのでしょうか。



今回対談をした川越氷川神社の「氷川会館」は、令和5年にリニューアルオープンしたばかり。春は開放的な窓から全面に新河岸川の桜が楽しめる。



ろ、江戸時代から繋がっているところにもっと目を向けていきたいと思っています。農の分野についてはこれからいろんなアイデアが広がるのではないのでしょうか。

——ありがとうございます。



一般社団法人DMO川越 活動内容

ABOUT
DMO

DMO川越の“活動理念”

住民に
誇りと潤いを

Mission ～なすべきこと～
地域に住まう方々が誇れるような川越
住んでいてよかったと感じられるような川越を目指し
観光という分野から地域作りを行います。

住民と
来訪者の共存

Vision ～あるべきすがた～
Missionを達成するための方向性として
地域住民・地域事業者と来訪者が対立することなく
共存していけるような観光地域を目指します。

住民と来訪者の
共存

Value ～やるべきこと～
Mission・Visionを達成するための行動として
地域住民・地域事業者・来訪者が共通して感じられる
価値観づくり、魅力づくりに取り組みます。

DMO川越の“活動戦略”

観光価値の
創造

ITを活用した
観光の推進

情報発信の
充実

郊外への観光客
誘致の推進

歩いて
安心な環境と
マナーへの取組

自主財源の
確保



DMO川越の“活動内容”（令和5年度）

事業1

データ収集
分析事業

ビッグデータや来訪者向けアンケート、各施設への聞き取り等を行い川越市観光に関するデータの収集や分析を行っています。それらのデータは川越市、小江戸川越観光協会、川越商工会議所、まちづくり川越などの関係事業者と共有され、観光施策の根拠や施策の効果検証などに用いられています。

事業2

インバウンド
コンテンツ造成事業

地域の方々と来訪者のどちらもが共通して感じられる“川越らしさ”、“川越の魅力”を集約し、観光庁からの補助金を活用してインバウンド来訪者に向けたコンテンツの造成や受け入れ態勢の整備情報発信体制の整備を行っています。

事業3

協働団体アンケート
事業

観光というジャンルにとらわれず幅広い分野の地域事業者様に“川越のありかた”、“川越観光のありかた”について意見を頂くと共に今後のDMO川越の活動で協働していける事業者様との人脈づくりを行っています。

事業4

旅先納税事業

ふるさと納税の拡充策として川越市が導入した「旅先納税」の一部事業を受託することで地場産品の魅力発信や消費拡大、DMO川越が継続的に事業を行っていくための財源を確保地元事業者様との人脈づくりを行っています。

親子で楽しめる和菓子作りにチャレンジ

子どもから大人まで一緒になって和菓子作り体験ができるのが、老舗和菓子屋「龜屋」の新ブランドである和菓子「kashichi」。こちらのお店は和菓子を若い人にも親しんでもらいたいとの思いからオープンしました。和菓子作り体験では職人さんから教わりながら季節の練りきり菓子2品を作ることができます。子どもはもちろん大人もつい夢中に。体験は1人2,200円、所要時間は約30分。事前予約制で土日祝日のみの開催です。



川越市幸町1-13
049-228-3320
営業時間 11:00～17:00
(土日祝10:00～17:00)
定休日 不定休
https://www.instagram.com/kashichi_kawagoe/

kashichi

土の感触を楽しみながらオリジナルの器作り



川越市幸町7-1
049-222-0989
営業時間 10:00～18:00
定休日 不定休(令和6年1月より水曜日定休)
<https://www.touho-yamawa.co.jp/>



老舗陶器店「陶舗やまわ」の奥の蔵にある「やまわ蔵部（やまわくらぶ）」は陶芸体験ができる陶芸教室。初めての方でも気軽に参加できる「おためし体験」（手びねり、電動ろくろから選択できます）「絵付け体験」や、午前・午後1日かけて陶芸に没頭できる1日陶芸教室のほか、本格的に陶芸を楽しめる長期陶芸教室も行っています。おためし体験は所要時間は1時間程度。自分だけのオリジナル作品を作ってみてはいかがでしょうか。

陶舗やまわ

活版と和綴の魅力に触れるワークショップ

1924年創業の株式会社櫻井印刷所が運営する「文星舎」。水上製本所とのコラボで、活版＆和綴体験ワークショップを行っています。体験教室では、活版印刷機で印刷するしおりと和綴ノートを作ります。しおりに文星舎のロゴを転写する活版印刷を体験したり、束ねた和紙に穴を開けて糸でくくる和綴じの方法で本を作ったりと、他ではできない本作りの体験にワクワクが止まりません。専用サイトに予約受付中です。



川越市元町2-4-5
049-222-0935
定休日 不定休
詳しくはInstagramをご確認ください。
https://www.instagram.com/bunseisha_1924/

文星舎

鮮やかな色彩が素敵伝統工芸の絵付け体験



川越市仲町9-10
090-5525-3399
営業時間 10:30～16:30(染色体験の受付時間)
定休日 不定休
<http://inaki.jp/index.html>



日本工芸会所属の友禅きもの作家の工房。伝統工芸の技術を活かし、型友禅体験や藍染め体験、草木染め体験などさまざまな体験ができます。ワークショップは初心者でも気軽に染色のものづくりを楽しめます。小さい子どもでも挑戦できるのが、型紙を使った絵付け体験。バッグや巾着、Tシャツ、トートバッグなど数種類のメニューから選び、型紙の中から好みを選んで絵付けをします。料金は大人1870円～、子供1320円～になります。

染色工房
稲木

子どもから大人まで楽しめる！ 川越の体験スポット

川越にはさまざまな体験施設があります。初めての方でも気軽に参加できるおすすめの体験スポットをご紹介します。

趣ある蔵造りの室内で和の文化を体感



川越市松江町2丁目5-11
049-292-0075
営業時間 12:00～17:00
定休日 水曜日
<https://mucadeya.com/>



築380年の「田口家住宅」を再生・利活用した文化体験施設＆古民家カフェ。町屋の風情を感じる空間で茶道や書道、日本舞踊などの伝統文化体験することができます（要予約）。外国人や若い世代の観光客に人気を集めているのが、1階のカフェで楽しめる抹茶体験。「自分で点てる河越抹茶と季節の生菓子セット」は自分で点てた抹茶を味わえるメニュー。気軽に茶道体験ができると人気です。女性に嬉しいレンタル着物も行っています。

百足屋

埼玉県の名酒を飲み比べしてみよう！

明治8年創業の旧鏡山酒造の建築物を改修し、新たに誕生した川越市の産業観光館。館内では川越の特産品の購入や食事が楽しめるほか、利き酒体験ができる施設「きざけ処昭和蔵」も。日本酒生産量全国第4位の埼玉県内全蔵の日本酒（32蔵）がそろっており、有料試飲機「のみくらべマシン」にて利き酒を楽しむことができます。施設内にはお酒の魅力を引き立てくれるおつまみコーナーもあり。お気軽にの日本酒を見つけてみては？



川越市新富町1-10-1
049-229-6110
営業時間 11:00～19:00
定休日 なし（臨時休館日あり）
<https://www.machikawa.co.jp/>

小江戸蔵里

川越観光にもってこい！人力車でまちを散策



川越市喜多町2-1 喜多町弁天長屋7号
080-1086-0088
営業時間 9:30～17:30(季節によって変動あり)
定休日 不定休
<https://www.jinrikisha-itsukiya.com/>



川越観光に便利な人力車の店。着物で町を観光したい方、より深く川越を知りたいという方にぜひおすすめです。見どころが詰まった一番街周辺だけでなく、少し離れたお寺を巡るなど、知る人ぞ知る地元の隠れたスポットに案内してもらえると魅力。人力車に乗りながら優雅に川越観光を楽しんでみませんか。モデルコースと、人数、区間、時間別の料金表があるので、利用するシチュエーションに合わせてHPからお申し込みを。

川越人力車
いつき屋

川越市内にある
歴史的建造物や人物、
スポットなどを取り上げる
連載「川越を知る」。
今回は豊田町にある国指定史跡
「山王塚古墳」を紹介いたします。

山王塚古墳



閑静な住宅地の中に突如現れる小高い丘。この緑に覆われた小山が山王塚古墳です。7世紀後半に造られた上円下方墳で、小規模な方墳や円墳などにシフトしていった古墳時代終末期の墳形としては、最大級の大きさを誇ります。近年の発掘調査によりその歴史的価値を認められ、令和5年3月20日に国の史跡に指定されました。

墳丘頂に登れば、より身近に古墳の存在を感じることができます。ぐるりと散策しながらはるか遠い時代へ思いを馳せてみてはいかがでしょうか？

日本の古代史を読み解く 大きな手がかりに 国指定史跡 山王塚古墳

歴史的・学術的価値を有する史跡といえる。

入間川の右岸に面する武蔵野台地の端部に位置するのが、南大塚古墳群のひとつである山王塚古墳。7世紀（飛鳥時代）の第3四半期（西暦651～674年）に造られた日本最大の上円下方墳である。17万基を超えるといわれる古墳の中で、古墳発掘調査でこの墳形が確認された事例は全国に6例しかなく、極めて希少な古墳であることから令和5年3月20日に国の史跡に指定された。これまでの発掘調査により、被葬者の東国における立ち位置をはじめとするさまざまな情報を読み取ることができ、日本古代史を読み解くうえで

上円下方墳は、四角い台（下方部）の上に半球状の盛土（上円部）を積み上げた形をしている。これは古代中国思想の世界観である「天円地方」（天は円く、地は方形）を具現化したものと考えられる。規模は上円部直径37m、下方部一辺69m、墳丘盛土の高さ5m、周溝外縁一辺90m。川越市教育委員会では平成24年度より山王塚古墳の史跡内容確認のための発掘調査を実施した。地中レーダー探査によって古墳内部の埋葬施設が明らかとなり、主体部は全長15m、ハの字状の前庭部（全長6m）と玄室と前室を持つ複室構造の横穴式石室（全長9m）で構成されている。これは飛鳥時代、武蔵地域の有力首長基（武蔵府中熊野神社古墳など）に採用されたものと同じ型である。また羨道と前庭の一部が発掘され、羨道の側壁石材は遠隔地から運搬した角閃石安山岩と緑泥片岩、床は拳大の礫を敷いていた。埴輪は持たず、須恵器の平瓶とフラスコ形長頸瓶、ガラス小玉および石室内にあ





ったと思われる木棺に使用した鉄釘片も出土した。山王塚古墳の時代は日本が律令国家へと歩み始め、地域支配形態が前代の古墳時代とは全く異なる地方行政組織に変貌する時代である。山王塚古墳の規模と墳形から、被葬者は古代人間郡域における重要な地位の人物と推定される。

また墳丘下に、先行する時期の古墳が存在することも明らかとなった。墳丘下の古墳は周溝をロームブロックで丁寧に埋めており、その上に山王塚古墳の下方部が築かれていた。規模を大きく見せるため周囲に幅広いの周溝を巡らし、下方部の外縁に土手状の盛土を築いていることも判明している。こうした、4次にわたる発掘調査の成果は『山王塚古墳 総

括報告書』にまとめられている。

今なお多くの古墳ファンが訪れる山王塚古墳。墳丘頂に登ることもでき、墳丘頂には山王信仰に基づいた山王社が鎮座し、狛犬ならぬ神猿（山王信仰では猿が神使といわれる）が祠をお守りしている。山王塚古墳の西隣には山王塚西古墳があり、こちらは7世紀前葉に築造された直径43mの円墳である。かつては墳丘が残っていたが、大正時代の開墾で削平された。平成4年の調査では勾玉や鉄剣、甕などが出土した（川越市指定文化財）。

※周辺は住宅地ですので、見学の際はご配慮願います。また周辺に駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

Column

古墳巡りが楽しくなる 山王塚古墳の御墳印が誕生

「御墳印」とは、神社や寺を訪れた際にもらえる御朱印の古墳版で、古墳を来訪した際の記念印のこと。各古墳の指定販売先で料金を支払うと各古墳オリジナルの「御墳印」がもらえます。古墳をこよなく愛する「古墳ガール」といわれる女性も増えている昨今、古墳を見るだけでなく、集める、巡るという新しい楽しみ方は古墳ファンだけにとどまらず注目を集めています。そんな中、令和5年11月より川越市の国指定史跡『山王塚古墳』の御墳印も登場。小江戸川越観光協会事務局、川越まつり会館にて1枚税込300円で頒布しています。



新入会員紹介

萩原商店



川越市元町1-8-6裏手キッチンカー
050-7110-3144
営業時間 10:30~16:00頃
定休日 不定休
https://www.instagram.com/hagiwara_shoten/

今年4月のオープン以来注目を集めているキッチンカー。「実家である萩原製麺の麺を使って何か話題になる商品を作りたいかった」という店主萩原さんの狙い通り、ワンハンドで手軽に食べられる

「羽根つき三角焼きそば」は観光客を中心に評判に。パリパリモチモチの食感と太麺焼きそばで意外と食べ応えがあるところが人気の秘訣です。移動できるので各種イベントにもぜひお声がけください！

(株)ちゃぶだい



川越市三久保町1-14
049-214-1617
営業時間 カフェは平日11:00~16:00
(土日は11:00~17:00)
定休日 水曜日
https://chabudai-kawagoe.com/

ゲストハウス、カフェ、バー、眼鏡店、レストランスペースが集まる複合施設。ワークシヨップや毎月最終日曜日開催のマーケットなどさまざまなイベントも行っていきます。「地元の人たちの暮らしが豊かになるようなことを発信したい」と西村さん。観光客向けのゲストハウスである一方、カフェやバーは地元のお客様が多いとのこと。この場所を介して両者の交流の輪も広がっています。

川越唐棧手織りの会



川越市郭町2-30-1(市立博物館内)
049-222-5399
機織り体験 ほぼ毎週木・日曜日
10:00~15:00(博物館の開館日に準ずる)
※博物館は12/4~3/15まで工事のため臨時休館
https://www.instagram.com/kawagoe.touzan_teirinokai

川越の伝統ある織物の会。「川越唐棧」の手織りの会。毎週木曜日の10時~15時に市立博物館にて活動しています。会員以外の方でも予約不要で参加できる機織り体験も行っており、「難しそうだと思っ

1901 TEA SALON



川越市連雀町13-4
049-236-3883
営業時間 11:00-18:00
定休日 火~金曜日
https://www.instagram.com/1901kawagoe/

非日常の時間を過ごせる日本茶専門のカフェ。河越茶をルーツに持つ狭山茶と、季節感溢れる和菓子メニューを楽しむことができます。築120年の蔵をリノベーションした店内はアンティーク調の家具が配され、この空

会員名	所在地	TEL
鬼蒸し鰻 和風鈴	川越市新富町 2-30-6	049-222-4337
いろはにほっ。	川越市松江町 1-5-1 ルネスプレミール 1F	080-3414-9068
as-is 合同会社 (as-is)	川越市元町 1-8-33 藤田ビル 1F	070-8972-6079
銀時	川越市仲町 10-8	049-298-7732
合同会社唐木木工	川越市幸町 14-3	—
川越市グリーンツーリズム拠点施設	川越市伊佐沼 887	080-7069-8695
fase by ipsilon..	川越市宮元町 2-9	—
一般社団法人さまちか	比企郡川島町大字下ハッ林 923 コミュニティセンター 2F	049-298-3377
うな昭	川越市元町 1-14-3	049-210-9791
小江戸温泉 KASHIBA	川越市松郷 1313-1	049-277-4126
(有) 阿難企画	川越市問屋町 3-2	049-222-5601
デザイン	川越市連雀町 10-3 (やきいも自販機)	—
(株) いつ和	川越市新富町 1-22 西武本川越ベベ 3 階	049-236-3528
パーク 2 4 (株)	東京都品川区西五反田 2-20-4 パーク 24Grp 本社ビル 5F	03-6747-8144
(株) ラクロ	川越市大中居 95-3	049-293-7474
pomegraph	—	090-9317-5231
HALOA COFFEE TAROTARO	—	090-2445-3352
IRUMA Ninja CAFÉ	—	—
川越チーズケーキ	川越市幸町 1-3	049-227-3911

※「—」は観光協会にお問合せ下さい。

このページは広告が入っておりました



小江戸川越春まつり

令和6年3月24日⑤～4月21日⑤

今年も川越の春を満喫しよう！今年度の春まつりは上記の日程で行われます。また、同期間中、さまざまな団体のイベントなども行われます。オープニングイベントでは、市内各所で鉄砲隊演武・鳶組合はしご乗り・消防音楽隊・小江戸茶屋など、見どころ満載です。

オープニングイベント：令和6年3月24日⑩10:00～16:00
会場：蓮馨寺や一番街、仲町交差点周辺、大正浪漫夢通り他
※札の辻交差点から連雀町交差点までとその周辺は交通規制となります。ご注意ください。
※各種のイベントなどは、予告なく変更・中止になる場合がございます。

共催：小江戸川越観光事業実行委員会（小江戸川越観光協会内）
（公社）小江戸川越観光協会
後援：川越市・川越商工会議所・小江戸川越観光推進協議会

小江戸川越春の舟遊 開催計画

氷川神社裏の新河岸川で、川面から桜を楽しむ「小江戸川越春の舟遊」。約10分間、乗船できます。

開催日：令和6年3月23日(土) 11時～15時
(小江戸川越春まつり3/24～4/21のプレイベントとして開催)
※ライフジャケットを着用出来ない方や泥酔者は乗船ができません。
※荒天・増水等の場合は中止となります。

場所：川越氷川神社（川越市宮下町2-11-3）裏の新河岸川河畔
 料金：1,000円（2歳以下は無料。小学生未満は要保護者同伴）
 乗舟券：全国のセブンイレブンで販売予定
 乗舟時間：約10分間（乗り降り含めて、15分間隔で運行）
 共催：小江戸川越観光事業実行委員会／（公社）小江戸川越観光協会
 後援：川越市／川越商工会議所／小江戸川越観光推進協議会



小江戸川越
おもてなし

令和6年1月30日 発行



発行 公益社団法人 小江戸川越観光協会
〒350-0056 埼玉県川越市松江町2-1-8
TEL 049-227-9496
印刷 株式会社 櫻井印刷所

本誌は著作権法の保護を受けています。
内容が無断で転写、複製、転載することは禁じられています。

撮影 中村香奈子 大木賢
デザイン 吉野博之
執筆 鈴木はるか
編集 櫻井理恵

《あとかき》

地名に「越」の文字を持つ川越の町。これまで幾多の苦難を乗り越え、より魅力的に発展してきました。

手元の「証言記録 川越文化史」第二巻（昭和63年刊）には、ちょうど百年前、関東大震災に見舞われた日の様子が多彩な話者により語られています。電車駅の大混乱、札の辻の理容店を襲う悲劇、農家の馬が見せた予知ともいえる不思議な行動。ことに、災害時に脱出しやすい外開きの扉を採用すべきか、お客様が入りやすい内開きを選ぶべきか、というくだりには「住む」目線と「迎える」目線との容易ならざる葛藤を見ました。そして座談の参加者は口々に「この経験は次代の人々に伝えたい」と話を締めくくるのです。

コロナ禍を経て、さまざまな産業がゆっくりと元の活気を取り戻しつつあります。辛苦を越えた先人たちの知恵と、疫禍を通じて得た私たちの経験とを併せ活かし、快適で安全な、いつまでも色あせない川越観光を実現する一助となれたら。

想いも新たに、新年のおもてなし誌をお届けします。

小江戸川越観光協会 副会長（広報担当）山田 禎久